

科目名	日本文化研究B			ナンバリング	JPN261	授業形態	講義
対象学年	3 年	開講時期	後期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	帆苅基生	担当教員					

授業の概要	この授業は、「芥川賞から見る戦後日本文学史」と題し、戦後から現在までの文学やその周辺の状況を芥川賞を切り口に見ていきます。出版不況と言われる中で、現在でも芥川賞・直木賞は社会的トピックスとして様々なメディアで報じられています。しかし芥川賞創設時からこれほどまでに大きく取り上げられていた訳ではありません。現在のように大きく取り上げられるようになった背景には、戦後の社会情勢の変化やメディア拡大というものが大きく関わっていることがうかがえます。そこでこの授業では芥川賞受賞作・候補作・選評を足がかりにして、そこから同時代の文学(文壇)状況や社会状況を学び、文学と社会の関わりについて考えていきます。芥川賞という出来事とそれに関わる作品を同時代の文化的・学術的コンテキストに基づいて分析することを通して、戦後から現在に至る日本の現代文学、文化について学んでいきます。						
到達目標	1. 芥川賞受賞作・候補作それぞれの特徴を同時代の諸現象に絡めて具体的に説明することができる。 2. 戦後から現在にいたる日本の文化的・学術的コンテキストについての知識を習得することができる。 3. 文学作品や過去の文化や学問が、現代のわたしたちの生活にどう役立てられるかについて自分なりの意見をまとめることができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	文学系の授業はとにかく次回扱うテキストを読んでくることが大切です。予習はそれだけで構いません。その代わり、授業後はしっかり時間をかけて扱ったテキストから読み取れる小説の特質や同時代の文化・学術について、文章化できるようにしておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
	○	4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 芥川賞受賞作・候補作それぞれの特徴を同時代の諸現象に絡めて具体的に説明することができる。 2. 戦後から現在にいたる日本の文化的・学術的コンテキストについての知識を習得することができる。 3. 文学作品や過去の文化や学問が、現代のわたしたちの生活にどう役立てられるかについて自分なりの意見をまとめることができる。	1. 芥川賞受賞作・候補作それぞれの特徴を同時代の諸現象に絡めて具体的に説明することができる。 2. 戦後から現在にいたる日本の文化的・学術的コンテキストについての知識を習得することができる。 3. 文学作品や過去の文化や学問が、現代のわたしたちの生活にどう役立てられるかについて自分なりの意見をまとめることができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○				40%
宿題・授業外レポート	○	○	○				50%
授業態度・授業への参加	○	○	○	○			10%

課題、評価のフィードバック	+
---------------	---

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	オリエンテーション	この講義の進め方や、取り上げる作家や小説の概要を行う。	
	第2回	純文学と大衆文学	芥川賞が創設された背景や、純文学と大衆文学という概念とその変遷について学ぶ。	
	第3回	1940年代～50年代①	安部公房「壁—S・カルマ氏の犯罪」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第4回	1940年代～50年代②	石原慎太郎「太陽の季節」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第5回	1940年代～50年代③	大江健三郎「飼育」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第6回	1960年代～70年代①	河野多恵子「蟹」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第7回	1960年代～70年代②	大城立裕「カクテル・パーティー」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第8回	1960年代～70年代③	古井由吉「杳子」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第9回	1980年代～90年代①	中上健次「岬」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第10回	1980年代～90年代②	李良枝「由熙」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第11回	1980年代～90年代③	笹野頼子「タイムスリップ・コンビナート」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第12回	2000年代～現在①	藤野千夜「夏の約束」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第13回	2000年代～現在②	津村記久子「ボトスライムの舟」を中心に読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第14回	2000年代～現在③	又吉直樹「火花」を読み、小説の特質をその物語の背景となるコンテキストに基づいて解釈する。	
	第15回	まとめ	本科目で扱った作品の文化的・学術的コンテキストの資料を用いて、それらの特質や戦後日本の文化についてまとめる	
	試験	試験は実施しない		
授業の進め方		基本的に講義形式とするが、受講者に適宜感想や意見を求めていく。		
授業外学習の指示		次回読むテキストや配付された資料は事前に必ず目を通しておくこと。授業後は講義をふまえ、テキストや配付された資料を再読し、レポート作成の準備をしていくこと。 （授業外学習時間： 毎週 180 分）		

教科書	小説本文はプリントを使用する予定である。
参考書	授業中に適宜紹介する。
参考URLなど	授業中に適宜紹介する。
その他	